

第 5 号様式（第 6 条関係）

北の台中学校 学校運営協議会会議録

会 議 の 名 称	第 3 回 北の台中学校 学校運営協議会		
開 催 日	令和 6 年 1 0 月 3 0 日（水）		
開 催 時 間	1 5 時 4 0 分 ～ 1 7 時 0 0 分		
開 催 場 所	北の台中学校 図書室		
議 長	教頭		
出 席 者	会長、コーディネーター、学校運営協議会委員（3 名） 校長、教頭、総括教諭．（5 名）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	なし
会 議 の 内 容			
【議題】 1. 開会 2. 校長挨拶 3. 議事 ○ 協議・意見交換 4. 閉会			
【主な意見・決定事項など】 3. 議事 ○ 協議・意見交換 ➤ 総合的な学習の時間「地域」への取り組みについて ・ お祭りグループ：現在、飲み物を来年度どう売るかについて生徒へアンケートを行っている。地域への提案を考えている。 ・ 自治会の運動会グループ：ポスター、生徒の提案した種目が採用された。次年度へ向けて検討。 ・ 地域の清掃グループ：清掃に関する種目を地域に提案できないか ・ 綾瀬の伝統グループ：小学校へのアンケートを経て、紙芝居など、地域へ向けて何ができるかを検討中。 ・ 地域の皆さまにご協力を頂き本当にありがとうございます。 ・ 次年度も継続していけると良い。			

- 本日のニュースポーツ大会について
 - ・ 中学生と一緒にスポーツで交流でき、地域の方も喜んでくれていた様子であった。
 - ・ 今後の運営について、例えば地域で運営するイベントに移行していくという方向性もあるのではないかな。
 - ・ スポーツ課とのやり取り以外は、ほとんど教員が関わらずに実施することができた。
 - ・ 募集の方法には課題があったかもしれない。競技の面白さや楽しさを発信できればもっと参加者は集まったかもしれない。
 - ・ 今回実際に体験し「楽しい」と生徒たちが感じられたことが、今後の活動につながっていくのではないかな。
 - ・ キンボールを見ていた1年生が途中から参加したがっていた。楽しんで参加している生徒の姿を見て「やってみたい」という思いを持ってもらえたことも成果である。
- 基礎学力の向上への取り組みについて
 - ・ 生徒のニーズに合う形があるのかなどうか。それを見定めなければ動き出しづらいのではないかな。
 - ・ 継続的な開催の難しさを感じる。
 - ・ 5教科の手助けに地域の力を取り入れるのは難しい。家庭科などの技能教科の方が地域の力を取り入れやすい。
 - ・ 継続的な取り組みよりも、日付や期間を決めてピンポイントに注力する方がコミスクとして取り組みやすいのではないかなと感じる。
 - ・ 当初イメージしていた「基礎学力の向上」のイメージと、コミスクの取り組みやすい活動とに差異があるのかもしれない。
 - ・ 地域の力を取り入れるのであれば、実社会の知恵を伝えてもらうような、ピンポイントでの講演会のような取り組みであればやりやすいのではないかな。
- 今後の取り組みについて
 - ・ コミスクが始まって3年経ち。本年度、計画してきた活動を実施するに至った。「持続可能」な取り組みかどうかも含め、現在の活動をどうしていくか、今後何に取り組んでいくかを改めて考えていく必要がある。
 - ・ 3学期にもう一度ニュースポーツ大会を実施する予定。
 - ・ 地域の女性の方も参加しやすくなるとよい。

- ・ 参加するのではなくとも、地域の方に生徒の楽しんでいる姿を見てもらう、見守ってもらう機会となっても良いのではないかな。

【配付資料】

次回開催予定

第4回 日程未定